

正則小学校沿革史

- 明治 5年 富塚村、二ツ寺村の2か所に義校が創立される
- 6年 富塚村に第五番中学区内四十八番小学習静学校が置かれる
花正村に第五番中学区内三十八番小学春秀学校が置かれる
- 10年 習静学校が富塚学校と、春秀学校が金花学校と改名される
- 13年 富塚村の富塚学校より、二ツ寺村に分離され、二ツ寺学校が設立される
金花学校から花長村が分離し、金岩村と合同して金岩学校が増設される
また、金花学校は花正学校と改名される
- 20年 二ツ寺学校、富塚学校、花正学校及び、金岩学校の一部が合同し、尋常小学
二ツ寺学校が設置される
- 25年 町村制施行により、正則村立正則尋常小学校と改名される
- 39年 正則村、蜂須賀村、篠田村が合併し、美和村ができる
- 40年 美和村二ツ寺尋常小学校と改名される
- 大正 6年 美和村立正則尋常小学校と改名される
- 昭和 16年 美和村正則国民学校と改名される
- 19年 太平洋戦争激化のため、二ツ寺月之宮境内に学童用防空壕が掘られた
都市からの疎開児童が増加した
- 22年 美和村立正則小学校と改名される
PTAが発足する
- 33年 町制施行により、美和町立正則小学校と改名される
- 35年 校旗の樹立式が行われる
- 38年 校歌が制定される
- 40年 鉄筋3階建て校舎の竣工式が行われる
- 43年 南東校地435坪(1325.5㎡)を拡張する
- 60年 児童数増加により、東小学校が新設され、木折地区が移る
文部省委嘱「勤労生産学習研究推進校」として研究発表会を行う
- 平成 9年 コンピュータ教室を設置する
- 12年 文部省から学校給食優良学校の表彰を受ける
- 19年 南校舎耐震補強工事を行う
- 22年 美和町、七宝町、甚目寺町が合併してあま市ができ、あま市立正則小学校と
改名される
- 24年 コンピュータ室のPCを入れ替える
- 令和 元年 普通教室にエアコンが設置される
- 2年 3月～5月、新型コロナウイルス感染症拡大により休校
学校行事や授業等の縮小を余儀なくされる
- 3年 タブレット1人1台配備 合唱用の音響反射板を購入